

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社クボタ枚方製造所 建機新	階数	地上5階、地下0階
建設地	大阪府枚方市中宮大池	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年5月18日
敷地面積	326,881 m ²	作成者	石本建築事務所・藤江比呂子
建築面積	7,056 m ²	確認日	
延床面積	16,098 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
音環境: 1.0	機能性: 2.2	生物環境: 1.0
温熱環境: 1.7	耐用性: 2.7	まちなみ: 2.0
光・視環境: 3.0	対応性: 3.8	地域性・: 1.5
空気質環境: N.A.		

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮の: 5.0	水資源: 3.4	地球温暖化: 3.4
自然エネ: 3.0	非再生材料の: 3.3	地域環境: 2.4
設備システ: 3.0	汚染物質: 3.2	周辺環境: 3.2
効率的: N.A.		

3 設計上の配慮事項

総合	その他
現況緑地を減らさない計画とした。	特になし。
Q1 室内環境 特になし。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 屋根・外壁に断熱材を使用し、空調設備の効率化を計った。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上を容易に仕分けができる計画とした。
	LR3 敷地外環境 道路境界線沿いに緑地帯を配置した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0023

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	株式会社クボタ枚方製造所 建機新棟新築工事					
	建設地	大阪府枚方市中宮大池					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		